

令和6年度第2回三鷹市農業公園運営懇談会及び実行委員会会議録

開催日時 令和6年8月7日(水曜日)午後6時30分から午後7時45分まで

開催場所 消費者活動センター3階 会議室

傍聴者 なし

出席者 懇談会委員14人/16人(欠席:2人)、実行委員3人/3人(欠席:0人)

次第

1 座長あいさつ

2 議題

(1) 三鷹市農業公園内の桜の伐採について

【事務局説明】

事務局説明

令和6年度中に2本の桜の木を伐採する(根が四方に伸びているため伐根は不可能)。伐採後は切り株から芽生えるひこばえを柵などで囲って見守り、新たな桜の木として育てる。またBの周辺に桜の苗木を植樹したい。8月下旬より市民へ伐採の周知開始、9月下旬~10月下旬に伐採作業を行いたい。植樹については、20周年記念事業で行うのはどうかと考えている。

(質疑・応答)

【委員】桜はひこばえの確立が高いので、期待できると思う。

【委員】植樹と聞いて安心した。園内の樹木で、伐採した数と植樹した数を教えてほしい。

【事務局】園内の樹木はすべて開園当初に植樹している。またこれまでケヤキを5本程度伐採した。伐採理由は、成長した木々が競合していたため、数本間引いて本来の木の成長を促すためである。ただし今回の桜の木の伐採は老朽化に伴う倒木の危険性によるもの。当初は伐根して植樹する方向で考えていたが、根が遊歩道まで伸びており伐根するには遊歩道の工事費用が掛かることが判明したため根元から伐採することにした。また伐採するにあたり樹木医に意見を仰いだところ、伐採後のひこばえの成長は期待でき、さらに植樹より短い期間で成長するとのアドバイスをもらったのでこの機会に試してみたい。

【委員】従来より園内の木々の多さが懸念されていた。間引きにより樹木が健やかに成長できるように伐採を行っていた。桜は寿命のため直近の開花状況を判断しての伐採。今回のひこばえは新しい試みのため挑戦する良い機会だと思う。

【委員】今年の春の開花状況をみたが上部が枯れていた。桜は若いうちから間引きしないと、枝が群れて枯れてしまい、落下する危険性がある。

【委員】植樹は良いと思う。ただ植樹の場所については、実習農場の近くだと成長した木が日光の妨げとなり、農作物の成長に影響しないか心配。

【委員】実習農場が近いので、陽の問題と根の問題はある。

【委員】桜の樹種にもよると思うが、今はソメイヨシノを植樹することはほぼない。もう少しコンパクトな樹種の方が良いと思う。

【事務局】樹種については、樹木医や園芸緑化組合などの専門家に意見を聞いてみる。

(2) 三鷹市農業公園20周年記念事業について

【事務局説明】

配置図、備品一覧およびスケジュール、記念事業ポスター(案)、農業体験の活動報告について事務局説明。

(質疑・応答)

【委員】地域のお祭りでもバルーンアートを呼んだが、子どもたちにとっても人気で行列になる。動線を考えて場所を決めないと渋滞してしまう。

【事務局】バルーンアートは声をかけている。

【委員】樹名板について、現在伐採したケヤキを乾燥させている。また金子成建(建具屋)に裁断を依頼する予定で、約30~40枚はできる想定。

【委員】どれくらいの大きさを想定しているか?

【委員】縦10cm×横20cm×厚さ1cm程度の大きさを想定している。細かすぎると割れやすくなるのである程度の大きさは必要。正確な大きさは裁断工程になってから確定する。

【委員】だいたい20~30枚くらいできるとして数は足りるのか。もしくは園内すべての木ではなく、できた板の数だけ樹名板作成するか。

【委員】金子成建に余った木材がある。了承がとればその木材も樹名板に使えるかもしれない。

【委員】樹名板の数を確認してほしい。

【委員】了解しました。

【委員】樹名板の文字はどのように書くのか。

【委員】知り合いに相談したところ、一番安易な方法は板にニスを塗って文字を書く。その他はバーナー

で焦がして文字を書くか、前回同様に焼き板にして文字を書くか。いずれの方法にしても時間がかかるし作成できる数が限られる。市内の学校でバーニングペン（電熱ペン）を持っている学校はないか。

【委員】学校はなかなか貸してくれないと思う。

【委員】ドレメル（※）だと木を彫りながら文字を書くことが出来るが、使用方法が子どもには難しい。※ドレメルとは工具メーカー。ここではドレメルのペン型ルーター（ペン先を回転させながら木やガラスを削る道具）を指す。

【委員】知り合いは小学校でバーニングペンを使ったとっていた。

【委員】バーニングペンで削るとしたら、キリかスギだと思う。ケヤキは固すぎてできないと思う。

【委員】一番簡単なのは板を丸焼きにして白いペンキで書く方法。

【委員】ケヤキは癖があるので、バーナーでも焼けないことが多い。

【委員】焼き板は難しいか？

【委員】焼き板よりは、先に話に上がったように、ニス塗ってその上に文字を書く方法が確実だと思う。

【委員】1度試して実践してみて、できるかどうか確認してみたい。

【委員】マルシェの進捗報告をお願いします。

【委員】現在6店舗に声掛けをしていて、うち4店舗より承諾を得ている（2店舗は調整中）。

出店先は次の4つの基準で選定した。

- ① 原材料に三鷹産農産物を使用した加工品を取り扱っていること
- ② 廃棄物の一部が市内農場の堆肥となっていること
- ③ 農業公園の地元である新川商工栄会会員であること
- ④ 三鷹商工会会員であること

出店先詳細は次のとおり。

出店者（予定）	主な出品物	選定基準	状況
w a t a 焼き菓子	クッキー	①、③	承諾済み
食茶房むうぶ	三鷹産野菜を使用した日替わり定食 ※キッチンカー	①	承諾済み
刈谷珈琲店	コーヒー	②、③	承諾済み
末廣屋喜一郎	団子・和菓子、(みたか宙球ゼリー)	④	承諾済み
岡田ファーム	焼き栗 ※キッチンカー	①	調整中
いちごランド	未定（ジャムとか）	①	調整中

【委員】防災の進捗報告をお願いします。

【委員】近日中に、街中防災プロジェクトとやろうよ防災に話をする予定。広報の締切はいつか？

【事務局】1か月前が締切なので、9月17日頃が原稿締切。

【委員】通常、類似のイベントを実施するときは事前募集して定員を決めている。昨年度は60名で実施した。その辺りの詳細も広報に載せてもらえるのか。

【事務局】農業祭と同週号に掲載する予定。事前応募を必須とするならば詳細を掲載する。

【委員】チラシは各校に配布する予定か。

【事務局】各校に5部程度で、全校生徒への配布は想定していない。資料4のポスターの裏面に詳細を記載して、チラシとして配布とすることも考えられる。配布先や方法などの詳細は今後検討したい。

【委員】ポスターに、先着と抽選がわかるように大きく入れると分かりやすいかもしれない。

【委員】農業体験は焼き芋ではなく、ふかし芋なのか。

【委員】焼き芋は大変なので、ふかし芋を想定している。

【委員】子どもたちは焼き芋のほうが喜ぶと思う。

【委員】今回は紅あずまという品種なので焼くのが難しい。すぐ焦げてしまう。なにを作るか検討します。

【委員】防災では焚火をやるのか。

【委員】大人数で危険を伴うので焚火はやらない。

【委員】焚火だと場所も制限される。

3 その他

次回の日程について

【事務局】次回の令和6年度第3回運営懇談会及び実行委員会は10月11日（水）18:30～とします。